

1. 初等教育学科

初等教育学科では、小学校や幼稚園、特別支援学校の教員養成を主な目的とし、子どもたちの育成指導に関わる基礎・専門知識や技能などを学修する。専門教育科目には、人間開発学部の理念・目的を体現する学部コア科目、本学科における学修の基幹となる固有の教育科目群である基幹科目、現在の子どもが習得を求められている諸内容の指導や、特別な教育的支援を必要とする子どもの指導に関する力量を持った教育者の養成を目的とする「言語・古典」「自然科学」「児童英語」「特別支援教育」「幼児教育」の5つの展開科目を設けている。そして、教育科目内容の理解を深め実践力を養うための演習・実習には、3年次に「演習」があり、4年次の演習・卒業論文の作成指導によって学修の総仕上げを行う。また、教員免許取得を目指す学生にとっては「教育実習」がある。その他、「人間開発」への取組みをより幅広く豊かなものとするための多様な関連科目も履修することができる。

【学部コア科目】

人間開発学部の理念、目的を体現する中核的な教育科目群で、すべての学科共通の必修科目として配置されている。学際的視点によって構築される「人間開発」という本学部の中心理念の基礎理論や教育者・指導者の在り方を学ぶとともに、「人間開発」の基盤をなす本学の建学の精神に基づき「日本の伝統文化」の理解を図る。

【基幹科目】

初等教育学科において基幹となる固有の教育科目群（選択必修）で、5つの展開科目類への橋渡しとなる性格を有している。初等教育に携わる教員として必須の小学校教諭一種免許状を取得するための科目、即ち、教育課程及び教育指導法に関する科目、生徒指導及び教育相談に関する科目、各教科の基礎となる概説科目、また「音楽」関係科目、「特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会」などを配当している。さらに初等教育段階における伝統文化教育の充実を図るため、日本の伝統文化への理解を深め、教育内容へと展開する方法を学修する。

【展開科目】

展開科目類を選択履修することによって、自己の個性と関心に合った得意分野を発見し、その専門性を高めることができる。また、特定の展開科目類に偏らない履修方法も可能である。

I類「言語・古典」

国語科における言語・古典を重視する方向性を受け、日本の言葉・文学とその歴史、書道などの言語文化に関わる科目を学ぶ。具体的には、我が国や郷土の伝統・文化のよさを的確に伝えることのできる基本的な国語力を養成する教育指導に卓越し、さらに我が国の古典や文学などの言語文化に触れさせて豊かな感性や情緒を十分に育み、子どもたちの発達の段階に応じてより高度な言語活動を指導する能力の育成を図る。

II類「自然科学」

理数教育のために不可欠な論理的及び科学的思考能力を培い、必要な知識と技術を身につけるための科目を学ぶ。具体的には、物質・エネルギーや生命・地球などを探るための観察と実験の方法を学び、自然科学に関する基礎的な知識を習得し、算数や理科の授業を充実させる構成力とコンピュータ分析法等を身につけて、子どもたちに探求と発見の楽しさを教授できる力の育成を図る。

III類「児童英語」

英語圏を中心とした外国文学に触れたり、英語という言語の成り立ちを学ぶことで言語と文化の基礎知識を習得したり、英語によるやり取りを充分に行って英語運用能力を向上させたりする。これらの学修を通して、子どもたちに外国（英語圏）の言語の構造や文化的な背景を十分に理解させつつ、初歩的な外国語（英語）を通じたコミュニケーションを体験させることのできる外国語指導者としての資質・能力の育成を図る。

IV類「特別支援教育」

特別支援学校や特別支援学級、通常学級に在籍する特別な教育的支援の必要な児童生徒に関する知識や指導技術を学ぶとともに、インクルーシブ教育の理念を深め、確かな教育実践力の習得を目指す。児童生徒の持つ個別の教育的ニーズの把握と指導計画の立て方、指導法の理解と評価のあり方など、より実践的な内容を中心とした講義で構成されている。各障害の知識と指導技術を身につけるのみではなく、他者と協調しながら特別支援教育を計画・実行する能力の育成を図る。

V類「幼児教育」

幼稚園教諭一種免許状を取得するための科目、幼・小連携を視野に入れながら子どもの生活環境や実態を把握する科目、子どもの身体表現を高めることを企図した科目などを学ぶ。具体的には、発達段階による子どもの生活習慣や安全への配慮と幼稚園と小学校の相違による教育内容の特異性や課題を十分に把握しつつ、子どもたちに豊かな感性と身体表現を培うことのできる資質・能力の育成を図る。

【教員免許を取得する際の各コースについて】

初等教育学科では、3つのコースを展開しており、それぞれのコースに基づいて単位を修得することができる。

小学校教育コース

このコースでは、小学校の各教科や、カリキュラム、学級運営、子どもと教員との関係形成等、小学校教育の実際を学修できるようにしている。また、希望する学生には、副免許として、中学校（国語・英語・社会・保健体育）、高等学校（国語・英語・地理歴史・公民・保健体育）が併有できるように指導する。このコースでは、学生が、児童期を中心とした発達プロセスの理解に基づき、子どもが自らの価値に気づき、自己効力感を高める教育実践力と各教科の専門性を兼ね備えた小学校教員を養成する。

幼小教育コース

このコースでは、幼稚園教育を中心とした学修に加え、小学校の各教科やカリキュラム、学級運営、子どもと教員との関係形成等、初等教育（幼稚園・小学校）の実際を学ぶことができる。また、小学校で実施する教育実習の他に、幼稚園で行う実習に関する科目とその内容の充実を図る。そして、このコースの学生が、幼児期から児童期を通じた発達プロセスの理解に基づき、子どもが自らの価値に気づき、自己効力感を高める教育実践力と、幼小連携における専門性を兼ね備えた初等教育（幼稚園・小学校）に携わる教員を養成する。

特別支援学校教育コース

このコースでは、小学校の各教科での学び、カリキュラム、学級運営、子どもと教員との関係形成等、小学校教育の実際を学び、加えて特別支援教育の理念と制度、知的障害、肢体不自由、病弱（身体虚弱）、視覚障害、聴覚障害、発達障害といった障害種毎の発達と行動特性、支援方法の基礎を学修できるようになっている。特別支援学校や小学校において、常に障害のある子どもの視点に立ち、個々のニーズを的確に把握し、同僚の教員、保護者と協働しながら適切な教育支援を実践できる教員を養成する。

【カリキュラムの構成と履修方法】

初等教育学科における専門教育科目の構成とその履修方法は、次のとおり。

科目区分		卒業要件
学部コア科目		3科目 6単位 必修
基幹科目		16単位 選択必修
展開科目	I類（言語・古典）	1科目 2単位 必修
	II類（自然科学）	1科目 2単位 必修
	III類（児童英語）	1科目 2単位 必修
	IV類（特別支援教育）	1科目 2単位 必修
	V類（幼児教育）	1科目 2単位 必修
演習・実習科目		4科目 9単位 必修
関連科目		
合計		74単位以上

※1 卒業するためには、専門教育科目から74単位以上を修得しなければならない。なお、教育実習に関する科目は、要卒単位に含まれない。

※2 開講科目及び卒業要件の詳細は、P23～25のカリキュラム表を参照のこと。

※3 卒業論文の詳細は、P35・36を参照のこと。

※4 教育実習は選択制。2年次の履修登録時に、履修登録を行うこと。

※5 教職・資格課程の詳細は、第5章「教職課程」・第6章「資格課程」をそれぞれ参照のこと。

※6 基幹科目「特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会」は、小・中学校教員免許状取得希望者に必須である「介護等体験」に参加するための前提となる科目である。

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法	備考	
				1	2	3	4			
学部 コア 科目	人間開発基礎論 (人間力育成の人間学)	半期	2	○				6単位必修		
	教職論	半期	2	○						
	日本の伝統文化	半期	2		○					
基幹 科目	生理学	半期	2	○				16単位選択必修		
	教育の原理	半期	2	○						
	教育課程論	半期	2	○						
	運動学	半期	2	○						
	発達と学習	半期	2		○					
	教育と社会	半期	2		○					
	伝統文化と生活論	半期	2			○				
	伝統文化授業論	半期	2				○			
	初等科教育法(国語)	半期	2		○					
	初等科教育法(社会)	半期	2		○					
	初等科教育法(算数)	半期	2		○					
	初等科教育法(理科)	半期	2		○					
	初等科教育法(生活)	半期	2		○					
	初等科教育法(音楽)	半期	2		○					
	初等科教育法(図工)	半期	2		○					
	初等科教育法(家庭)	半期	2		○					
	初等科教育法(体育)	半期	2		○					
	初等科教育法(外国語)	半期	2		○					
	道徳教育の理論と方法	半期	2				○			
	特別活動の理論と方法	半期	2				○			
	総合的な学習の時間の理論と方法	半期	2				○			
	幼児理解の理論と方法	半期	2		○					
	教育相談	半期	2				○			
	生徒指導・進路指導	半期	2		○					
	国語概説	半期	2			○				
	社会科概説	半期	2			○				
	算数概説	半期	2			○				
	理科概説	半期	2			○				
	音楽概説	半期	2		○					
	図工概説	半期	2		○					
	家庭科概説	半期	2		○					
	体育概説	半期	2		○					
	教育の方法と技術	半期	2				○			
授業アセスメント論	半期	2				○				
特別な教育的ニーズとインクルーシブ社会	半期	2		○						
音楽基礎指導法	半期	2		○						
ピアノ実技A	半期	1		○						
ピアノ実技B	半期	1		○						
展開 科目	言語・古典基礎論	半期	2	○				2単位必修		
	児童文学	半期	2		○					
	日本語学概説Ⅰ	半期	2		○					
	日本語学概説Ⅱ	半期	2		○					
	日本文学概説Ⅰ	半期	2		○					
	日本文学概説Ⅱ	半期	2		○					
	日本文学史Ⅰ	半期	2		○					
	日本文学史Ⅱ	半期	2		○					
	日本時代文学史Ⅰ	半期	2			○				
	日本時代文学史Ⅱ	半期	2			○				
	漢文学概説	半期	2			○				
書道	通年	4			○					

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法	備考	
				1	2	3	4			
展開科目	II類 (自然科学)	理科実験・観察基礎論	半期	2	○				2単位必修	
		理科実験・観察法(生命)	半期	2		○				
		理科実験・観察法(地球)	半期	2		○				
		理科実験・観察法(粒子)	半期	2		○				隔年開講
		理科実験・観察法(エネルギー)	半期	2		○				
		理科授業構成論	半期	2			○			
		コンピュータ分析法	半期	2			○			
		算数科授業構成論	半期	2			○			
		ICT授業構成論	半期	2			○			
	III類 (児童英語)	外国語概説	半期	2			○		2単位必修	
		英語コミュニケーション演習A	半期	2			○			
		英米語概論I	半期	2			○			
		英米語概論II	半期	2			○			
		外国文学I(英)	半期	2			○			
		外国文学II(米)	半期	2			○			
		英米地域文化論I	半期	2		○				
		英米地域文化論II	半期	2		○				
	IV類 (特別支援教育)	特別支援教育総論	半期	2	○				2単位必修	
		知的障害児の心理・生理・病理	集中	2		○				
		知的障害児の教育	半期	2		○				
		肢体不自由児の心理・生理・病理	集中	2		○				
		肢体不自由児の教育	半期	2		○				
		発達障害児教育総論	半期	2		○				
	V類 (幼児教育)	生活科概説	半期	2			○		2単位必修	
		こども生活基礎論	半期	2	○					
		保育内容総論	半期	2		○				
		保育内容(健康)	半期	2			○			
		保育内容(人間関係)	半期	2			○			
保育内容(環境)		半期	2			○				
保育内容(言葉)		半期	2			○				
保育内容(表現)		半期	2		○					
リトミック		半期	1		○					
演習・実習	専門基礎演習	半期	2	○				9単位必修		
	演習	半期	2			○				
	演習・卒業論文	通年	4				○			
	野外活動実習	集中	1	○						
	教育インターンシップ	半期	2			○				
	教育実習IA(事前指導)	半期	1		○			自由科目(要卒単位外)		
	教育実習IB(事後指導)	半期				○				
	教育実習II	半期	2			○				
	教育実習III	半期	2			○				
	特別支援教育実習(事前指導)	半期	3			○				
	特別支援教育実習(事後指導)	半期				○				
	特別支援教育実習	半期				○				
	教職実践演習	半期	2			○				
関連科目	人間開発学特殊講義	半期	2		○					
	学校・学級経営論	半期	2			○				
	人権教育論	半期	2			○				
	地域教育社会学	半期	2		○					
	家庭教育論	半期	2		○					
	臨床教育学	半期	2		○					
	人間形成の心理学	半期	2		○					
	発育期の健康と運動	半期	2		○					
	性別による身体特性	半期	2		○					
	摂食のしくみと食育	半期	2		○					
	メンタルヘルス	半期	2		○					
	衛生学・公衆衛生学	半期	2		○					

(次ページに続く)

科目区分	授業科目	開講	単位	開講学年				履修方法	備考
				1	2	3	4		
関連科目	学校保健	半期	2		○				
	安全教育	半期	2		○				
	ジェンダーと社会教育	半期	2			○			
	企業内教育Ⅰ	半期	2			○			
	企業内教育Ⅱ	半期	2			○			
	日本史概論Ⅰ	半期	2			○			
	東洋史概論Ⅰ	半期	2			○			
	西洋史概論Ⅰ	半期	2			○			
	人文地理学	半期	2		○				
	社会学A	半期	2			○			隔年開講
	社会学B	半期	2			○			隔年開講
	宗教学Ⅰ	半期	2		○				
	宗教学Ⅱ	半期	2		○				
	病弱児の心理・生理・病理	集中	2		○				
	障害児の生理・病理	集中	2		○				
	障害児指導法	半期	2			○		自由科目（要卒単位外）	
	病弱児の教育	集中	2		○				
	視覚障害児教育総論	半期	2		○				
聴覚障害児教育総論	半期	2		○					

○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。

※ 開講時期は年度により、変更される場合がある。